第9回軽便鉄道模型祭記念

温根湯の
協三15tボギーDL
車体エッチング板

(C) 軽便鉄道模型祭事務局　2013

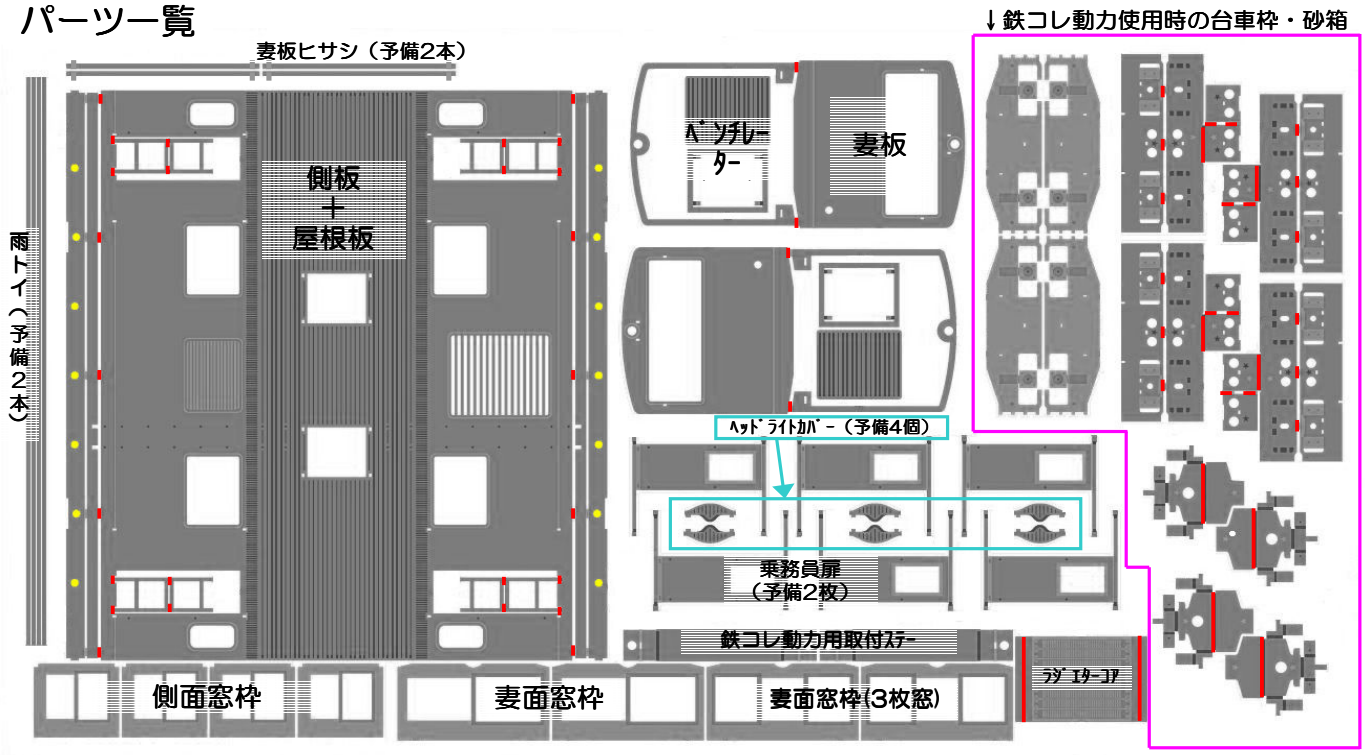
メール keibenfes@gmail.com
公式ブログ http://keibenfes.exblog.jp/
設計・製造　アルモデル

このたびは第9回軽便鉄道模型祭記念エッチング板をお買い上げいただきありがとうございます。
　今回は、北海道の温根湯森林鉄道で活躍した、協三工業製の15tボギー式ディーゼル機関車です。実車は、1953/昭和28年に試作機1輌、追って1955/昭和30年に量産型4輌の計5輌が北海道の温根湯森林鉄道（北見営林局留辺蘂営林署）に導入されたもので、わが国の2'6"森林鉄道用としては最大・最強の内燃機関車でもありましたが、他局に転じることなく昭和37年までに全て姿を消しています。

　この製品は車体の基本部分のみのキットであり、**動力・各種ディテールは"おまかせ"**となりますが、ぜひ各自の創意工夫でお楽しみ下さい。
・パーツの切り離しは、歪みが出ないよう注意深く行ってください。板厚はt0.3となっておりますので、相応にデリケートな扱いが必要です。工具はマイクロタイプのニッパー、エッチング鋏、爪切りを推奨。
・板の折り曲げの際、スジ彫りが内側とならないケースもありますので注意して下さい。
・組立にはハンダ付を推奨しますが、場所によっては瞬間接着剤／エポキシで代用しても差支えありません。
・タップ立てが必要な箇所があります。M1.2のタップをご用意下さい。
・車体側板と乗務員扉裏面には、手スリの追加工がしやすいようにポンチマークがあります。
・塗装は脱脂洗浄、プライマーで下処理ののちおこなってください。実物の色は、車体窓周り：クリーム、腰周り：ダークグリーン とのことですが、微妙な色調の再現は各自研究のこと。

※注意： このキットは製品の特性上ある程度の経験者向けであり、小さなお子様や工作知識のない方には適しませんのでご留意下さい。

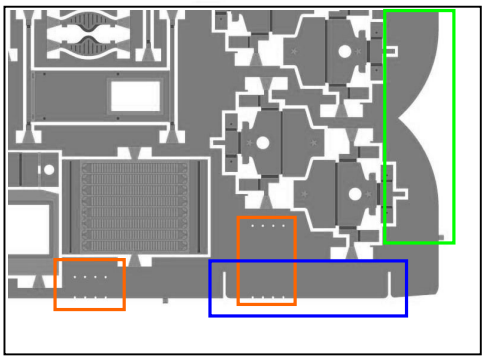
パーツ一覧



▲上の図はエッチング板のランナーとゲート（バリ）を除いた状態です。これを参考に、位置決め用の突起をバリと間違えて切り落とさないよう注意して下さい。
・赤いマーキング■の部分は、スジ彫りが外側になるように折り曲げます。
・黄色の丸印●（車体内側床板ステー）には、あらかじめ任意の4箇所ほどにタップ（M1.2）を立てておきます。（鉄コレ動力使用の場合は、各々の端から2つ目の、ステーに切れ込みのある脇の孔に立てます）

■ランナーに組込の治具各種⇒

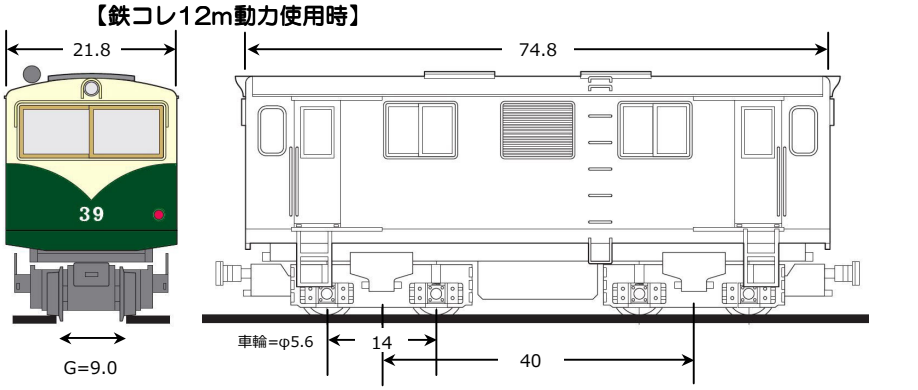
- ：正面塗り分け線テンプレート
- ：正面ヒサシ折り曲げ治具
- ：手スリ折り曲げ治具（ポンチに合わせて孔アケのうえ使用）



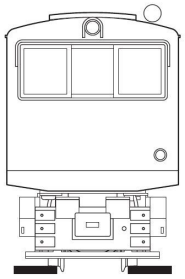
■推奨動力装置
○トミーテック 鉄道コレクション動力12m級用（TM-01/TM-03）
○アルモデル 協三15tボギーDL専用動力ユニット

■推奨別売パーツ
○ヘッドライト：タヴァサ PX-038 民鉄用前尾灯セット（取付孔1.7mm）または タヴァサ PN-036（PN-042）100Wレンズ（取付孔1.8mm）
○テールライト：タヴァサ PN-009 新型テールライトA レンズ付（取付孔1.0mm）
○手スリ：φ0.3前後の線材
○カプラー（専用動力使用の場合）：ケーディー(マイクロトレインズ) #2003、各社朝顔タイプ
○M1.2ビス× 4本（動力取付用）
★エアータンクは直径φ5×12mm。丁度よい大きさの市販流通品が存在しないため、適当な棒材から自作・または同径の市販品（フクシマ『エアータンクC』など）の切り継ぎで調達して下さい。
★排気管もパイプや線材で適宜自作が必要です。

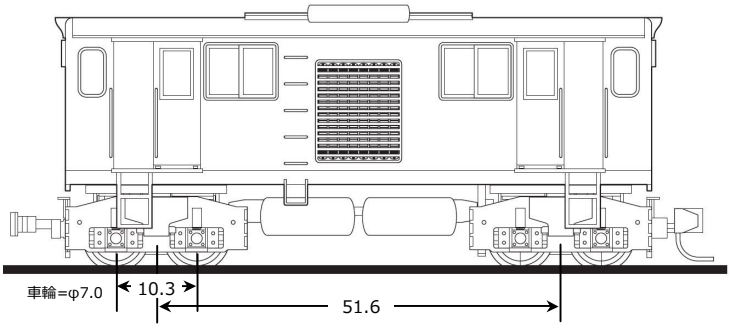
【鉄コレ12m動力使用時】



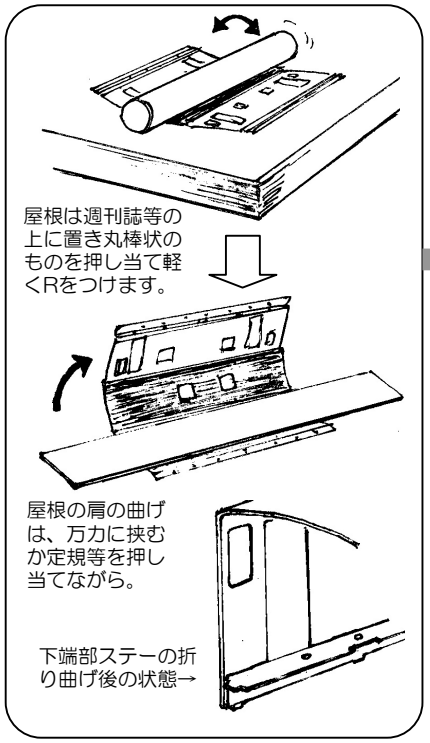
【3枚窓正面】

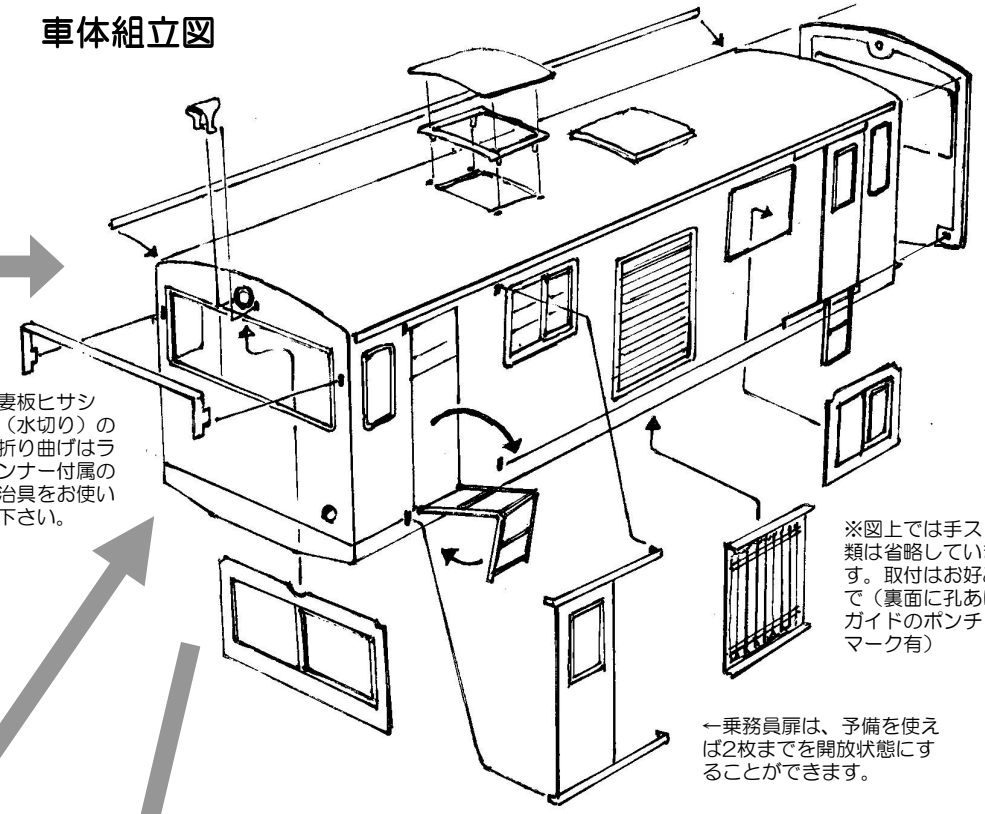


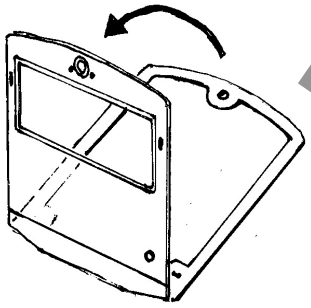
【排気管/ラジエター/エアタンク側側面・専用動力使用時】



車体組立図





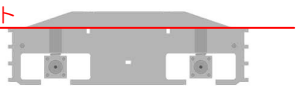


↑妻板は図の通り折り曲げてから車体にハンダ付

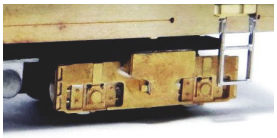
妻板廻りは、車体組立後にヤスリがけしてカドにRをつけます。→

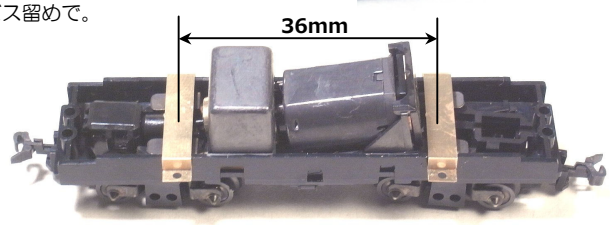
★鉄コレ用動力使用時の注意

エッチング板付属の台車枠ですが、そのまま組むと床板に当たって台車が首を振らないため、事前に右図の通り上方の台形状の部分をカットして下さい。



車体取付ステーは、下図のとおりセンター基準で36mm間隔で動力ユニット床板に接着します。車体への取付は下からビス留めで。





キットや実物に関する情報は、軽便祭　協三15tボギー　検索